ぜんせき
THE ZENSEKI

6月28日（水曜日）2017年（平成29年）

第7700号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円　組合員外 月1,944円（消費税込）

発行所
全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp
昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

論説

SSの過疎地問題が業界の縮図

SS過疎地を巡る状況は年々厳しさを増している。資源エネルギー庁は先月25日に『第4回SS過疎地対策協議会』を開き、シンクタンクに委託し「SS過疎地実態調査」を取りまとめた。

この中で、全国のSS過疎地に所在するSSにアンケート調査を実施したところ、「事業を継続する」というSSが約7割を占めたが、「廃業を検討」または「事業継続の見通しが立っていない」というSSも約3割に達し、SS過疎地の厳しい経営環境や廃業・撤退SSの増加で石油製品の安定供給体制のほころびが広がることが危惧される。

HVや軽自動車など低燃費車の普及拡大や少子高齢化の進展、若者の車離れなど、社会構造の急速な変化によって、ガソリンなどの需要減が進む石油業界にあって、SS過疎地では「燃料油販売量減少」が経営課題のトップを占め、次いで「粗利益減少」が上位を占めた。さらに「従業員確保」「後継者確保」という人手不足・人材確保の課題を挙げるなど、SSが現状抱える課題・問題がSS過疎地に集約されているといっても過言ではない。全国津々浦々に張り巡らされたSSの石油安定供給サプライチェーンを維持・確保していくために、今後SS過疎地に注ぎ込まれるSSの様々な対策や支援は、そのままSS業界全体の維持・強化策につながっていくことになる。

SS過疎地対策協議会では、問題・課題解決に向けた新たな処方箋を示した。この中で①課題の認知②検討③実践④評価・改善の4段階のプロセスが必要と指摘。この4つのプロセスのうち、①課題の認識②検討のプロセスが進んでいかない現状が改善が求められているとし、いざSSが閉鎖する段階になってはじめて問題を認識する事態になった場合、取り得る対策の選択肢が狭まり事態打開がより一層困難になる。先行事例を見ても、数年にわたる丁寧な地元での調整があって可能となる対策が多いことから、「地元の課題を早期に見据えて共有し、計画を作り、実行に移していくことが求められる」と、SS過疎地自治体にSS過疎問題に対する理解醸成が不可欠とした。まずは、過疎地自治体が率先して、地域の将来を見据え、地域で維持するSSの将来目標を設定し、地域実態を踏まえた対策を自治体のリーダーシップの元で早期に実施する必要がある。加えて地域住民とSS業者の三位一体の連携が不可欠となる。

全農エネ廉売で要請

公取委 菅久部長「問題意識持っている」

全農エネルギーSSによる廉売行為が山口県下関市で深刻な問題になっていることに、山口石商の藤井泓理事長、岡部憲治副理事長・経営委員長、地元下関支部の福井將大経営委員、同県石油政治連盟の塔野毅会長が、全石連の加藤文彦副会長・専務理事とともに22日、公正取引委員会の菅久修一取引部長らと面談し、廉売行為の防止を求め陳情した。

この中で、全石連の加藤副会長・専務理事が全国的な全農エネルギーSSの販売動向を説明した後、山口石商から下関市内の全農エネSSが度重なる不当廉売の注意処分を受けているにも関わらず、廉売行為を続けている実態を訴え、「責任者を招致しての厳重注意の対象になるのではないか」などと指摘。「元売による差別対価などが背景にあるのでは」とも述べた。

質疑では山口石商が「我々の仕入れ価格よりも安く売っており周辺は非常に疲弊している。公取委の注意を受けても、その後さらに値下げすることもある。全く懲りていない」、「全農周辺の地場SSはこの4年間で10ヵ所以上、閉鎖、運営者交代している。一度、価格競争についていけないとお客が離れて、これで採算が取れなくなったら商売はあきらめざるを得ない。死刑執行の日を待つではないが、それくらいの中で商売をしている状況」などと地場中小SSの実態に言及。さらに下関市内では「直近、全農エネSS周辺でやむなく追随する地元SSに対し公取委からの口頭注意があった」とし、その真意を質した。

菅久取引部長は「公取委は法律と事実で判断するが、供給に要するコストを下回り、かつ、周辺の事業者の方に影響のある行動は、顧客のためにもならないと考え規制している。注意は不当廉売の未然防止で行っているもの」との考え方を示すとともに、下関の件は報道などを通じ承知しているとしたうえで、この件に対する公取委の対応について説明。周辺SSへの口頭注意については「周辺も調べているということは、より問題があるとみて、詳細に調査をしたということではないか。より問題意識を持っているということだろう」とも述べた。

公取委・菅久取引部長（右奥から2人目）に実情を訴える山口石商・油政連幹部

木村石連会長会見　税制改正要望を決定

自動車燃料の課税公平性訴え

石油連盟の木村康会長は26日の定例記者会見で、2018年度の税制改正要望について、①石油諸税のさらなる増税や石油諸税に係る税収の使途拡大など、石油に対する以上の税負担に反対②自動車用燃料・エネルギーなどに対する課税の公平性確保③バイオETBE配合ガソリンに係るエタノール相当分のガソリン税免税制度の延長―の3項目を重要事項に掲げ、今後国などの関係先に要望活動を展開していく方針を示した。

一方、JXTGエネルギーという巨大元売の誕生に対し、業界が安定化していくという見方と、元売の支配力が強くなっていくことを警戒・心配する声があるとの指摘に対しては、「安定供給と効率的な経営というのが我々の使命。経営を効率化していくという大前提がないと我々は社会から認められない。こうした取り組みが達成されれば、社会から評価してもらえ、マーケットに対する評価も高まるはず。効率的な経営を目指し、それが目に見える形で評価してもらえるようにするのが最優先」との考えを示した。

昭シG卸据え置き

昭和シェル石油は28日からのSS向け週決め仕切りを通知した。特約店筋によると、前週比でガソリンは据え置きとした。ガソリンは3週ぶりに下げ止まった。一方、灯油、軽油、A重油はいずれも1円値下げ。

6月のSS倒産10ヵ月ぶり0件

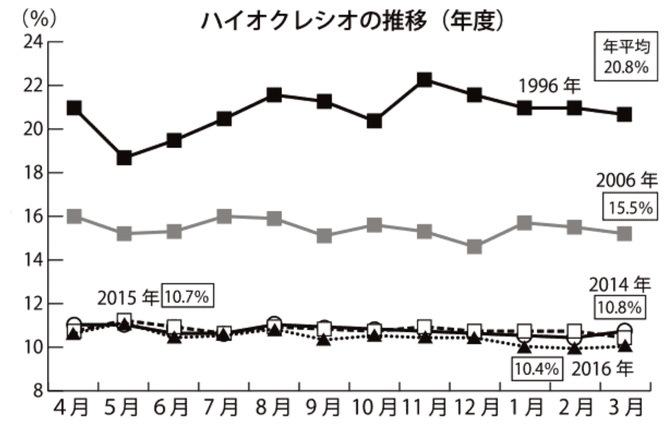
帝国データバンクが先ごろ発表した5月のSS倒産件数は0件だった。倒産件数が0件となったのは、昨年7月以来10ヵ月ぶり。一方、17年累計（1～5月）は前年同期に比べ6件減の8件、負債総額も3分の1以下の6億4100万円にとどまり、中小販売業者の倒産が目立っている。

SN保証5号　SS指定業種

中企庁

中小企業庁は先ごろ、「セーフティネット保証5号」について、6～9月末までの指定業種を発表し、SSと石油卸売業が再指定された。石油販売業者は信用保証協会の100%保証付き融資が受けられる対象業種となる。

石油販売業者が実際にセーフティネット保証5号を利用するには、①最近3ヵ月間の月平均売上高などが前年比5%以上減少している②製品などの売上原価のうち、20%以上を占める原油などの仕入価格が20%以上上昇しているにもかかわらず、製品価格に転嫁できていない―のいずれかの条件を満たし、所在地の市町村の認定を受け、金融機関および信用保証協会に認定書を提出し保証付融資を申し込む（市町村の認定とは別に金融機関と信用保証協会による審査がある）。保証限度額は一般保証とは別枠で、無担保保証8千万円、最大で2億8千万円。47都道府県に所在する信用保証協会などで相談に応じている。



2016年度 20年間で半減、収益悪化顕著

ハイオクレシオ10.4%

ハイオクレシオが減少に歯止めがかからない。資源エネルギー庁の資源・エネルギー統計による自動車用ガソリン販売に占めるハイオクガソリン販売の比率は、2016年度平均（16年4月～17年3月）が前年度比0・3ポイント減の10・4%に落ち込んだ。前年度のうるう年の反動減や原油価格の上昇による小売価格の値上がりなどがあったものの、レギュラーを含めて堅調に推移した。ただ、消費増税後もレギュラーとの価格差が変わらず、ハイオクマージンは低空飛行を続けており、レギュラーを含めたマージン回復が喫緊の課題となっている。

16年度のハイオク販売量は前年度比0・7%増の688万キロリットルに増加した。ゴールデンウィーク商戦を含む5月が7・4%増、暑さで需要が伸びる7月も7・3%増、8月も5・2%増と好調に推移した。ただ、12月が4・7%減、2月も前年うるう年の反動減で7・3%減、3月も9・8%減と下期は12月以降4ヵ月連続で前年割れとなった。

レシオは、ゴールデンウィーク期間などの堅調な需要で11・1%と11%台を回復、8月も堅調な需要に支えられ10・8%となった。ただ、下期は12月以降需要不振の影響で12月が10・4%、1月が10・0%、2月には9・9%と10%の大台を割り込んだ。3月も10・0%と低迷した。

20年前の96年度平均レシオは20・8%と2割を超えていたが、10年前の06年度には15・5%に下落した。

その後、ガソリン販売は04年度をピークに減少傾向で推移し、ハイオクも需要不振が続いている。2年前の14年度のレシオは10・8%に、15年度は10・7%まで落ち込んだ。

一方、14年4月から消費税が8%に上がり、ハイオクとレギュラーの価格差は10円程度と増税前と変わっていない。さらに販売競争激化でガソリンマージンが廉売地域では5円以下に沈むところも多く、再投資可能なマージン回復が大きな課題となっている。

4月ハイオクレシオは前月比0・5ポイント増、前年比0・1ポイント減の10・5%となった。

FCV・EV競合で戦略再考必至

水素導入拡大策提言

エネ研

日本エネルギー経済研究所はこのほど、水素導入拡大に向けた政策提言をまとめた。化石燃料や再生可能エネルギーなど多様な資源から製造できるなど、世界的にみて非常に大きな供給ポテンシャルを有する水素の導入拡大に向けて、『供給サイド』『輸送・貯蔵』『需要サイド』の3部門別に対策を提示。日本単独ではなく世界規模での水素需要の発掘・開発とともに、供給チェーン構築の必要性を提言した。一方、世界的なCO2排出削減の強化に伴い、石油など化石燃料利用に大きな制約がかかるとみられ、原油や天然ガスの資源国でCO2回収・貯留（CCS）を用いた化石燃料からのCO2フリー水素の製造・輸出が「化石燃料資源を有効活用する新たなビジネスモデルになり得る」と強調した。

水素供給チェーンの構築では、まず未利用エネルギーの有効活用を示唆。未利用エネルギーは輸送が困難で有効活用されていないことから、水素に変換することで、輸送可能な利用価値あるエネルギーになるとした。現状は褐炭（＋CCS）、油田随伴ガス（＋CCS）などが水素源として有望視されるとした。

また、水素の大量供給が可能な化石燃料を原料とする場合には「CCSの事業化は不可欠」とし、①コストダウンに向けた研究開発②導入を進めるための仕組みづくり③関連法体系の整備④貯留ポテンシャルの把握などの課題を挙げた。

さらに、水素需要の拡大に向けては、先行する運輸部門に加え、大量消費が期待される発電部門、民生部門、産業部門など、部門間の連携も視野に入れた総合的な需要拡大策が必要とした。

運輸部門では、「EVやプラグインハイブリッド車（PHV）など競合車種の台頭や水素ステーション（ST）に係る費用など、燃料電池車（FCV）の普及拡大には課題が多い。「FCVはさらなるコストダウン・燃費向上が求められるとともに、水素STの規制緩和や技術開発によるコストダウンに向けた取り組みの継続的な強化が求められる」とした。一方で「水素STをFCVへの水素充填機能のみに限定していては低稼働率から生じる不経済から逃れられず、水素販売価格の低下も見込めない」と指摘。水素STを地域分散型エネルギーシステムへのエネルギー供給拠点としての機能を持たせる構想を示した。

FCVとEVを比較してみると、国内の販売台数がようやく1500台を超えたFCVに対し、EVは世界で約120万台（2015年、全保有台数の0・1%）まで普及している。他方、走行距離や充電・充填時間においてはFCVが優位。経済性の優劣はEVの充電方法・箇所によって変化する。EVよりもFCVが適しているとも言われている大型・長距離貨物におけるFCV普及拡大の検討も課題とした。

ただ、EVとFCVとの関係においては、短距離移動はEV、長距離移動はFCVという棲み分けが考えられていたが、近年の蓄電池性能の急激な向上により両車が競合する可能性を示唆。EVを含めた他エコカーの普及動向を踏まえた戦略が不可欠とした。

EVとFCVの比較

	EV	FCV
走行距離	200～300キロメートル（テスラで600キロメートルを超えるモデルも）	**650～750キロメートル**
充電・充填時間	30分～8時間（急速充電～通常充電）	**3分**
車体価格	**300～400万円**（テスラで600万円を超えるモデルも）	700～750万円
燃料費	**①1.3～3.2円／キロメートル（家庭充電、夜間～昼間）②6.0～8.0円／キロメートル（一般の充電サービスを利用した場合）**	7.7円／キロメートル
インフラ	**充電ポイント：約1万3千ヵ所**	水素ST：100ヵ所
環境性（CO2排出量）	電源構成に依存	水素製造方法に依存

※太字が優位

ポンプあいらんど

▼小学生の間でうんこ漢字ドリルがはやっている。子供が大好きなそのワードを含む文章を埋めて覚える問題集となっている。そのワードが全く脈絡なく登場する文章が子供たちの心をつかみ、親には漢字を覚える教材であればと内容には寛容になれるところにヒットの秘訣がある▼自分たちの時代に比べると小学生の教科書は随分様変わりしている。イラストや図解を多用して、楽しみながら学ばせようとする意図が伝わる。あと1ヵ月もすれば、学校は夏休みに入るが、宿題に悪戦苦闘するところは昔も今も変わらない。特に作文・感想文は多くの子供が苦戦する課題であろう▼石油連盟は今年も小学校高学年を対象にした石油の作文コンクールを行う。昨年の受賞作品の中には、熊本地震の避難所へ大量の物資を輸送できたのは石油のおかげであって、物流において何十年たっても石油以上の効率の良い燃料は出てこないといった感想を述べるものがある。子どもの視点から石油の大切さをしっかり見つめていると感心する▼子どもに石油の大切さと他のエネルギーに代え難い優位性を理解してもらうことは非常に意義のあることだ。身近に高学年の子どもがいる方は夏休みの課題にコンクールへの応募を勧めてはいかがだろう。未来に石油のありがたさを伝えたい。

きょうの紙面

2面　17年3月末JASS数2619ヵ所
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報
3面　平成29年度各地総（代）会表彰
4面　トレンドファイル／webアンケート

今、セルフ洗車の歴史が動く！
Express Wash HBS-EM型
エクスプレスウォッシュ専用 ドライブスルー洗車機
余裕の処理能力がドライバーを満足させる！
これまでの1WAY機では、スピード性は単なる処理能力というメリットしかありませんでした。
「HBS-EM」はそのスピードを洗車の品質を高める方向にシフトし、仕上がりを求める方にも、
短時間での洗車を求める方にも対応したドライバー満足度を勝ち取る洗車機です。

1分の壁を切る高品質スピード洗車
コース別動作比較
1WAY洗車
○シャンプー ○ワックス　0.5往復　59秒
○泡ジェットコーティング　1.5往復　2分11秒
高品質ガラス系コーティング洗車
○泡ジェットグラスコート　2.5往復　3分23秒
シャンプー洗車だけでなくコーティング洗車の工程も短縮した事で
大幅に洗車処理スピードが向上しました。
※速度設定を最速とした時間
Beautu ビューテー株式会社
■本社 名古屋市港区木場町2番地
TEL 052-692-2101（大代表）
http://www.beauty.gr.jp
ISO14001　ビューテー本社事業所は環境管理に関する国際標準規格ISO14001の認証を取得しています。
ISO9001　洗車機製造部門タケウチテクノは品質管理に関する国際規格ISO9001の認証を取得しています。
機械遺産認定の信頼と門型洗車機累計販売台数世界NO.1の実績
北海道支店　仙台支店　上信越支店　埼玉支店　東京支店　千葉支店　東海支店　北陸支店
大阪支店　広島支店　福岡支店　南九州支店

17年3月末 JA-SS数 2619ヵ所

セルフ率34・7%へ

SS漸減も加速する転換

JA全農が先ごろまとめた今年3月末現在の47都道府県別SS数は、前年同期に比べ56ヵ所減の2619ヵ所に漸減する一方で、セルフSS数は26ヵ所増の910ヵ所に増加した。SS数が減少傾向にある中で、セルフは年々着実に増えており、セルフ率は1・7ポイント上昇して34・7%と業界平均の30・3%を上回り、各地でセルフへの転換を加速させている実態が浮き彫りとなった。

SS数は一昨年が57ヵ所減、昨年が46ヵ所と、ここ数年40～50ヵ所のペースで減少しているのに対し、セルフは一昨年が28ヵ所増、昨年が21ヵ所増と30ヵ所弱のペースで増加。各地で販売競争が激化する中、セルフを中心としたJA－SSの影響力が高まっている。JAは近年、経営効率化などを目的に、老朽化した小規模なSSの廃止を進める一方で、大型セルフに集約化するなど、供給体制の効率化やSSの競争力強化に積極的に取り組んでいる。

地域別のSS数をみると、減少は21道府県に上り、鹿児島が9ヵ所減（99ヵ所）、愛媛が8ヵ所減（85ヵ所）、熊本が7ヵ所減（127ヵ所）などとなった。

他方、セルフは各3ヵ所増の北海道（122ヵ所）、山形（32ヵ所）など19道府県で増加。またセルフ率は、2ヵ所中2ヵ所ともセルフの大阪を除くと愛知62・5%、埼玉61・5%、京都・奈良が各60・0%に達するなど、ガソリン激戦地を中心にセルフ化が進んでいることがわかった。

2017年3月末のJA－SS数

	SS数				うちセルフ				
	15年	16年	17年	増減	15年	16年	17年	増減	率
北海道	279	274	273	▲1	118	119	122	3	44.7%
青森	76	74	74	0	14	15	16	1	21.6%
岩手	46	46	46	0	21	21	21	0	45.7%
宮城	51	51	50	▲1	29	29	29	0	58.0%
秋田	82	82	78	▲4	21	21	23	2	29.5%
山形	74	73	71	▲2	27	29	32	3	45.1%
福島	94	94	94	0	30	32	32	0	34.0%
茨城	34	34	32	▲2	18	18	18	0	56.3%
栃木	21	21	21	0	6	6	7	1	33.3%
群馬	65	64	64	0	17	17	18	1	28.1%
埼玉	27	27	26	▲1	16	16	16	0	61.5%
千葉	39	39	37	▲2	18	18	18	0	48.6%
東京	1	1	1	0	0	0	0	0	0.0%
神奈川	22	22	22	0	4	4	4	0	18.2%
山梨	51	50	50	0	9	9	9	0	18.0%
長野	167	165	163	▲2	45	45	45	0	27.6%
新潟	102	95	92	▲3	37	36	36	0	39.1%
富山	34	34	34	0	9	9	9	0	26.5%
石川	51	49	49	0	25	25	25	0	51.0%
静岡	67	67	67	0	28	28	28	0	41.8%
愛知	85	81	80	▲1	51	50	50	0	62.5%
三重	44	43	43	0	21	21	23	2	53.5%
岐阜	53	52	52	0	15	16	17	1	32.7%
福井	33	33	33	0	8	9	9	0	27.3%
滋賀	15	15	15	0	4	4	4	0	26.7%
京都	17	16	15	▲1	8	8	9	1	60.0%
大阪	2	2	2	0	2	2	2	0	100.0%
兵庫	56	54	54	0	27	27	28	1	51.9%
奈良	20	15	15	0	9	9	9	0	60.0%
和歌山	25	25	24	▲1	3	3	3	0	12.5%
鳥取	46	46	46	0	19	19	19	0	41.3%
島根	33	34	31	▲3	10	13	13	0	41.9%
岡山	58	57	56	▲1	10	10	10	0	17.9%
広島	40	36	36	0	9	9	9	0	25.0%
山口	16	17	17	0	5	6	6	0	35.3%
徳島	29	29	29	0	11	11	12	1	41.4%
香川	25	25	24	▲1	11	11	11	0	45.8%
愛媛	94	93	85	▲8	11	12	13	1	15.3%
高知	59	59	58	▲1	9	10	11	1	19.0%
福岡	80	80	79	▲1	20	21	21	0	26.6%
佐賀	63	61	61	0	18	19	21	2	34.4%
長崎	69	65	61	▲4	10	14	15	1	24.6%
熊本	137	134	127	▲7	34	35	36	1	28.3%
大分	26	26	26	0	7	7	7	0	26.9%
宮崎	69	69	69	0	6	6	7	1	10.1%
鹿児島	108	108	99	▲9	23	23	24	1	24.2%
沖縄	36	38	38	0	10	12	13	1	34.2%
合計	2,721	2,675	2,619	▲56	863	884	910	26	34.7%

商社系販売SS系列マークで安値攻勢

地場から違和感相次ぐ

千葉

【千葉】千葉県の地場業者が最も違和感を感じているのが、商社系販売子会社SSの安値拡販姿勢だ。PBSSの攻勢には「ノーブランドだから仕方がない」との声もあるが、商社系子会社SSの多くは、元売系列マークを掲げながら極端な安値拡販を続け、最近では乱売合戦を誘因するような販売姿勢も目立ち、「系列サインポールを掲げる理由があるのか」との不満も出ている。

120円を下回るガソリン価格で販売する商社系販売子会社SSがある地域では、周辺SSとの価格差が10円以上に達する事例が出てくる事態に、「なぜそこまでできるのか」との声が地場業者から上がる。

激戦地の地場業者は「商社系のSSでも系列マークを上げていないなら納得できるが、立派な系列のサインポールを掲げての極端な安値には違和感がある。あの価格で採算が合うとすれば、仕切りが違うのか仕入れが違うのかに限定される」と危機感をあらわにする。また、商社系販売子会社SSの多くが、表示価格を大幅に下回る実売価格で販売していることを指摘する業者もあり、その結果が周辺量販SSとの競争を激化させていると指摘する業者もいる。

夏場の需要期に入っても安値拡販姿勢が続けば、経営環境に影響するとの懸念も広がっており、地場業者は「系列マークを掲げるのであれば我々と同じ土俵で商売するべき」との声も上がっている。

NEDO タイでバイオ技術実証

新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のプロジェクトで、月島機械とJFEエンジニアリングはこのほど、タイ王国サラブリ県に建設したバイオエタノール製造プラント（写真）で、サトウキビの搾りかす（バガス）を原料としたバイオエタノールの製造技術の有効性を実証し、技術面や採算面で実現可能な商業生産モデルを構築した。今後は、タイをはじめ、東南アジア地域へ普及・拡大を図り、未利用資源を活用したエネルギー生産と温室効果ガスの排出削減への貢献を目指す。

タイは近年の急速な経済発展により、エネルギー消費量が著しく増加傾向にあるものの、その大半を輸入に依存しており、エネルギー供給不足への対策が喫緊の課題になっている。このため、タイ政府はエネルギーの安定供給のために、バイオエタノールの増産を目指す方針を掲げている。またタイは、世界トップレベルのサトウキビ生産量を誇る一方で、製糖工場では、砂糖生産の際にサトウキビを搾った後に生じるバガスが大量に発生しているが、工場のボイラ燃料に使用する供給量の60～80%以外は余剰バガスとして有効利用されることなく廃棄されていた。バガスのようなセルロース系バイオマスを原料とするバイオエタノールの製造においては、原料費と酵素費がコストの大部分を占め、これら費用の低減は、普及を図るうえでの最重要課題となっている。

こうした状況を背景に、今回のNEDOプロジェクトでは、建設したバイオエタノール製造プラントで、製糖工場から副産物として大量に排出される余剰バガスを原料に微生物や酵素・発酵技術などを用いて、バイオエタノールを製造する技術の有効性を実証し、そこで得た知見、データから、技術面のみならず採算面において実現可能な商業生産モデルを構築した。

〝情報力〟が対応左右

九州支部農漁委 新委員長に川口氏

【福岡】全石連九州支部農林漁業委員会はこのほど、福岡市内で会合並びに実務担当者研修会を開催した。新委員長に選任された川口和孝氏（林兼石油社長・エネオス系）が就任のあいさつをし、続いて全石連の田中成治共同事業グループ長（農林漁業部会担当）が燃料油環境規制問題について詳しく説明した。

川口委員長（写真）は「農林漁業油に関連して様々な新しい動きが出ている。常に新しい情報を集めて機敏に対応したい」と抱負を述べた。

田中グループ長は、船舶燃料油に対する硫黄分濃度規制強化が20年1月にスタートすることから、石油業界にも大きな影響が出てくると指摘。「石油連盟では基本的には船舶にスクラバー（洗浄装置）を設置して対応すべきという考えだが、海運側はスクラバー設置には膨大な費用を要することと、船舶によってはスクラバーの設置が難しいものが出てくることから困難という意見が強い。元売側が低硫黄分の燃料油を供給することになればコストが上昇、価格アップにつながり、コストを適正に価格転嫁できるかが問題」と説明した。

川口委員長は「20年の規制強化に対して今後いろいろな動きが出てくるだろう。タンク、バージ、パイプラインなど様々な面にも関係してくる。積極的に情報を集めてタイミングを見極めて対応したい」と述べた。

多量配達灯油 1・71円下落

札幌市モニター

【札幌】札幌市消費生活課が23日に実施した石油製品小売価格調査の結果によると、ホームタンク向け多量配達灯油（200㍑程度以上）の平均価格は㍑73・63円で、9日調査から1・71円値下がりした。調査店100店（うち取り扱い休止・なし21店）の最多価格は73円（22店）。最低は64円（1店）、最高は83円（1店）。

ガソリン（現金）はフルが129円、セルフが126円。同じく軽油は112円、109円で、両油種ともフルで2円、セルフで3円値下がりした。

組織活性化へ人材発掘

神奈川・川崎南支部支部長 近藤 雅修氏

ズームアップ 東西南北

〝新しい風〟

組織活動をいかに活性化していくかは大きな課題である。神奈川石商川崎南支部の近藤雅修理事・支部長（近藤石油社長・エネオス系）は、組合活動を最前線で支える立場から組織活性化を図るには「新しい人材を発掘し組織活動への参画を促していくこと。〝新しい風〟を入れないと活性化しない」と話す。

県下第2の規模を誇る川崎市だが、ここ数年は組合員減などで支部再編が進み、現在は南、中央、北の3支部体制。そんな再編の中だが、南支部は1961年以降、近隣支部との合併もなくそのままの形を残す。県内では伝統ある支部の1つだ。

共同事業でも好実績の常連支部。2016年度は伝票、タオル、SS総合共済、中型生命の4種目で目標達成し、県石協の活動に貢献した。「川崎の中心部にあるため地元大手の本社が多く、共同事業などの協力は得やすい。ただ、毎年1ヵ所ずつ地元SSが減っていく。他地域の影響もあるが、セルフや広域のSSが率先して値下げする」とその量販指向に危機感を示し、市場混乱がもたらす中小SS経営への悪影響を訴える。

都内で潤滑油販売優秀特約店表彰式

JXTGエネ

JXTGエネルギーはこのほど、都内のホテルで2016年度全国潤滑油優秀特約店・セールス表彰式を開催し、代表者とセールス合計53人を招待、表彰盾を贈呈した。

優秀特約店の部では、前年の潤滑油販売量をもとに4クラスに分け、外販潤滑油および環境配慮型商品の増販量をクラスごとに競う「総合部門」、自動車用・工業用・船舶用・グリースそれぞれの販売量を競う「商品別部門」、各支店選定の「エリア最優秀重点特約店部門」の3部門で34店を表彰。また、優秀セールスの部では実車・実機テストの実施件数や顧客への納入件数などを競い、19人を表彰した。

一方、17年度ルブマイスター認定式も実施し、特約店セールス22人を認定して認定盾を贈呈。これにより、09年度の認定制度導入以降、現在の認定者数は1445人となった。

さらに、特別講演会としてソウル五輪シンクロデュエット銅メダリストの田中ウルヴェ京さんが「リーダーに必要なメンタルスキルとは」をテーマに、部下のモチベーション向上方法やストレス解消法などを助言した。

表彰盾を贈呈する杉森務社長（左）

ENEOSでんき 新TVCM放映中

JXTGエネ

JXTGエネルギーはこのほど、新テレビCM「ENEOSでんき みんなハッピー」編の放映を関東1都6県および山梨・静岡両県で開始した。

夫婦役の小池栄子さんと古舘寛治さんが、だれでもお得になる「ENEOSでんき」をコミカルなやり取りで紹介し、最後に2人が「みんなハッピー」と息を合わせてつくるハート型のポーズ（写真）も注目としている。

8月10日までカード利用促進キャンペ

出光

出光興産は8月10日までの2ヵ月にわたって、セゾンカード・UCカードを持つ顧客向けに、お得なキャッシュバックキャンペーンを開催する。同期間中、出光の系列SSで、合計5千円（税込み）以上セゾンカードまたはUCカードを利用すると抽選で100人に5千円キャッシュバックする。また、ガソリンエンジンオイル（ZEPRO）をセゾンカードまたはUCカードで合計3千円以上購入すると抽選で100人に3千円キャッシュバックする。

周南市皮切りに4地域でコンサート

出光

出光興産は先ごろ、今年度から同社事業所が立地する地域で「出光興産コンサート～みらいを奏でる音楽会～」を開催すると発表した。

同社はこれまで、事業所が立地する自治体と協力し、地域住民らに良質な美術と音楽の提供をコンセプトとした招待コンサート「Music in Museum by 出光」を10年以上にわたり展開してきた。今年度からは装いを新たに、若手音楽家の発表機会の創出、また就学生への体験学習など、音楽経験の支援を狙いとした活動を実施する。また、同音楽会の会場では、同社の事業や社会貢献活動をビジュアルを用いてわかりやすく展示し、地域住民らに出光を知ってもらうための取り組みも行っていく。

コンサートでは、2013年から同社が協賛している和楽器ユニット「AUN Jクラシック・オーケストラ」とASEANの民族楽器奏者とのコラボレーションコンサート「ONE ASIA Joint Concert」のセレクションメンバーが参加し、華麗な演奏を披露する。

今年度の開催スケジュールは以下の通り。▽7月1日（周南市文化会館）▽8月26日（苫小牧市民会館）▽11月12日（市原市出光会館）▽11月25日（知多市勤労文化会館）

DATAコーナー

■石油先物市場・6／27

△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：¥／KL

東京商品取引所（京浜海上：1枚＝50KL）

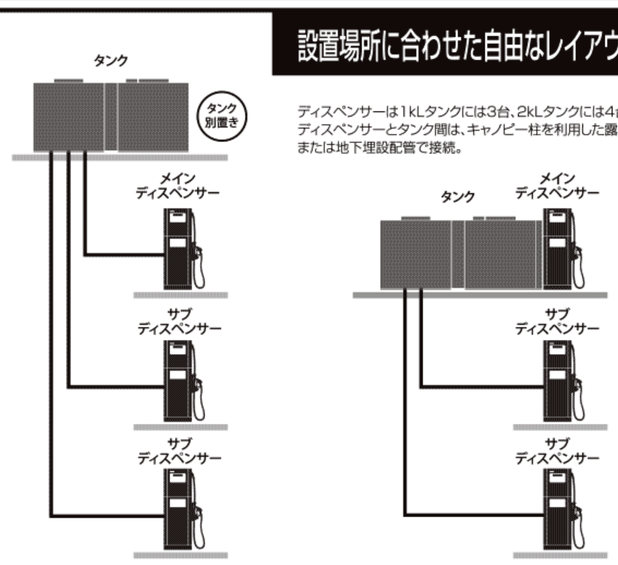
14：30現在	前日比	限月	14：30現在	前日比
（前日出来高3,063枚）		ガソリン	（前日出来高-枚）	
47,050	△310	⑧限月	-	-
46,560	△280	⑨限月	-	-
46,040	△360	⑩限月	-	-
45,660	△370	⑪限月	-	-
45,400	△300	⑫限月	-	-
45,330	△330	①限月	-	-
（前日出来高416枚）		灯油	（前日出来高-枚）	
44,700	△250	⑧限月	-	-
44,690	△410	⑨限月	-	-
45,350	△430	⑩限月	-	-
46,070	△300	⑪限月	-	-
46,590	△410	⑫限月	-	-
46,640	△390	①限月	-	-
（前日出来高-枚）		軽油		
-	-	⑧限月		
-	-	⑨限月		
-	-	⑩限月		
-	-	⑪限月		
-	-	⑫限月		
-	-	①限月		

中京石油市場（伊勢湾油槽所：1枚＝20KL）

原油指標

			前日比
国内指標	$／B	44.69	(△0.59)
	¥／KL	31,747	(△609)
WTI	$／B	43.38	(▲0.01)
	¥／KL	30,820	(△176)

TMC TOMINAGA MFG CO
高品位尿素水ディスペンサー
仕入れコストの削減に貢献！
尿素水の管理・給水作業もラクラク
POS連動可能で在庫管理もカンタン！

設置場所に合わせた自由なレイアウトが可能!!
ディスペンサーは1kLタンクには3台、2kLタンクには4台まで設置可能。ディスペンサーとタンク間は、キャノピー柱を利用した露出配管、または地下埋設配管で接続。


"燃料供給システム"の明日に取組む　http://www.kyoto-tmc.co.jp
株式会社富永製作所　〒604-8493 京都市中京区西ノ京南円町88　営業本部 ☎(075)801-8139代表 FAX(075)801-0717
仙台営業所 ☎(022)287-9311 FAX(022)287-9312　東京支店 ☎(03)3484-5051 FAX(03)3484-3944
名古屋支店 ☎(052)414-1181 FAX(052)414-1180　関西支店 ☎(0774)41-3443 FAX(0774)41-3444
広島支店 ☎(082)283-2428 FAX(082)283-2606　高松支店 ☎(087)843-7130 FAX(087)843-9139
福岡支店 ☎(092)651-3168 FAX(092)651-3118　事業所・代理店／全国主要39都市

キュー太郎　浜坂高一朗

明日への技術と信頼のサービス TATSUNO

各石商・協の平成29年度通常総（代）会が終了した。各府県の総（代）会会場には長年にわたりSSを支え、石油製品の安定供給に寄与してきた永年勤続従業員、輝かしい成績を収めてきた優良従業員、組織の発展に寄与してきた退任役員に感謝状を贈呈した。石油業界のこれまでの歴史を支え、企業や組織を発展させてきた関係者を組織として称え、謝意を表した各石商・協の被表彰者を掲載する（敬称略）。

平成29年度各地総（代）会表彰

永年にわたる尽力を称えて

岩手

〈組合功労者〉
齋藤正太郎（斎寅商店）、三田望（三田商会）、佐々木勲（田岡商店）

〈優秀組合員〉
鈴木力雄（鈴木商会）、千葉治男（千葉秀商店）、五安城正明（イナギ交易）、吉田正典（唐桑商会）、小野寺秀敏（三興石油）、佐藤克夫（やまもとや商店）、井上保（井上石油）、山城誠吾（山城商事）、今野幸悦（今野石油）、千葉光晴（千葉商店）、大内秀男（オオウチ）、佐藤久（シナネン石油東北支店）、佐藤禎次（遠藤商事）、田中善一（仙台卸商センター）、三戸宏（エネクスフリート）、中嶋一昭（中島商店）、佐山仁平（佐山商店）、石田博英（石田屋）、北岡郁也（五色商事）、木村浩則（木村商店）

〈優秀従業員〉
佐藤陽介（エネクスフリート）、加藤かすみ（迫生コン）、沼倉貴広（真柄油脂店）、大和田圭一（東日本宇佐美）、錦部育美（丸伊伊藤屋）、相澤和宏（アベキ）、伊藤清孝（東日本宇佐美）、石川良和（鈴掛石油）、佐藤珠子（ヤマサ石油）、遠藤徹（遠藤油川商店）

宮城総代会表彰式で謝辞を述べる受賞者代表

新潟は浜田忠晴理事長（右）が41人の優良従業員に表彰状を渡した

宮城

〈永年勤続優秀従業員表彰〉
相澤宏樹（齋藤商店）、佐々木望（塩釜商会）、大内秀也（オオウチ）、新井啓史（トキワ東北販売支店）、大宮憲子（人来田興産）、佐藤彰信、菊地雅尊（以上、北日本石油仙台支店）、佐藤伸、野村尚義（以上、カメイ）、大友泰明（砂金石油ガス）、田中俊一（渡豊商店）、鈴木千吉（丸油）、齋藤春美（佐藤油店）

福島

〈優良班〉
本宮支部本宮班、東白川支部矢祭班、喜多方支部西会津方部班、相馬支部相馬班

〈共同事業優良支部〉
田村支部

〈優良従業員〉
菅野修二（富士屋商店）、安斎達彦（小林ガス）、鈴木謙治（佐川生コン）、鈴木佳之（成田）、猪狩祐吾（太田石油）、遠藤牧人（高橋治郎商店）

〈社会貢献支部〉
会津若松支部

秋田

〈退任功労役員〉
乳井隆介（乳井石油商会）、西川光治（西ハヤマ）、宗村陽介（丸田石油）、竹内捨男（中村石油）

〈優秀従業員表彰〉
兵庫良重（大商サービス）、若杉千恵子（高橋石油）、石渡良一（高橋丸山文人、和田康司、小野澤功、原山留実（以上、高見澤）、長坂武美（関石油店）、小林智光、青沼博之（以上、貝印石油）、宮島武男（松沢商事）、山本企業）、中戸勇二（斉藤商店）、小室知子（高橋礦油）、鈴木則史（鈴木商店）、大登恵子（フクダ石油）、蓬田美弥子（ヨモ・サービスステーション）、高山和一（高山春吉商店）、野中真由美（朝妻石油）、篠崎和幸（塚原油店）、豊田充芳（豊田石油店）、高島由典（高島油店）、鈴木義昭（セキショウ・カーライフ）

茨城

〈退任役員功労者〉
小島紘一（越中屋）、塙茂男（塙石油店）、保土田和秀（保土田商店）、石川将至（セキショウカーライフ）、瀬尾満（瀬尾泰三商店）、押田浩（フカヤ）、栗山伸也（池辺石油ガス）、村山滋美（村山石油店）、兼平斎一（兼平商店）

〈永年勤続者表彰〉
檜山広志、武藤俊明（以上、吉田石油）、亀山昇（日の丸石油）、磯村浩、萩野谷慎二（以上、宇田川）、萩原孝弘、島野真、志賀栄司、川瀬直史、高橋太郎、椙山昌博（以上、関彰商事）、上野知彦（NCユニオン興産）、鈴木誠治（稲葉燃料）

千葉

〈退任役員〉
山下清文（山下商店）

東京

〈永年勤続〉
吉田隼（東和興産）、藤巻正次、須賀三男、西村和男、藤田由理子、江幡文枝、小林裕樹（以上、日新石油）、安藤浩（大和物産）、鈴木裕也、仙頭義喜、関根栄一、原田俊夫、伊藤一郎（遠藤商店）、相馬重商会）、増沢貴史、加藤泰一（以上、信光石油）、古井伸治、中井純子、塩原哲郎、小林和琴（以上、松本シェル石油）、杉本直也（カドヤ石油）、青木みゆき（アララギ青木商会）、三輪貢、中野卓（以上、豊島屋）、中田雄介（井口エネルギー）、五味小百合（エンドウ）、廣田佳彦（細川商会）、小林俊春（扇屋石油）、伊藤芳浩、内山さゆり、亀山進、守谷岳（以上、伊那中央石油）、熊谷智史、樋口都代美（以上、輪入石油）、宮下貴史（北原産業）、木下雅之（綿上、日新石油）、安藤浩（大和物産）、鈴木裕也、仙頭義喜、関根一郎（遠藤商店）、佐藤恵子（和田エネルギー）、田中大志、長谷川貴信、吉井淳平、米山龍太（以上、川崎商会）、稲村透（ハーン川商会）、小林俊春（扇屋石油）、伊藤芳浩、内山さゆり、亀山進、守谷岳（以上、伊那中央石油）、熊谷智史、樋口都代美（以上、輪入石油）、宮下貴史（北原産業）、木下雅之（綿上、日新石油）、安藤浩（大和物産）、鈴木裕也、仙頭義喜、関根一郎（遠藤商店）、佐藤博之（以上、頸城油所）

長野

〈永年勤続社員〉
大源正義（品川グループ本社）、川上那緒（トミセキ）、萩島国広、吉田征弘、島野智司（以上、富山石油）、奥田賢一（北日商会）、角村勇人、新藤英孝（以上、島石油）、鍛冶光憲、澤田美佳（以上、丸福石油産業）、佐々木康純（セーブ石油）、岡田明菜（南砺石油）、小川康弘（トミセキ）、宮下真吾、浦賢昇、飯野正人（以上、富山石油）、石倉克俊、宇田賢造（以上、日鉱産業）、向田来美（島石油）、敷いづ美、畑佳成（以上、岐阜日石）、上田享治、脇本正明（以上、岩正商店）、吉田文好（則武石油）、鷲見成和（大中石油）、今井裕樹、進藤亙、田口辰幸（以上、住吉石油）、千田健太郎（野中石油）

愛知

〈退任役員〉
山本亮（山本油店）、櫻井耕司（サンオー商事）、伊藤亘（三徳商事）

〈永年勤続優良従業員〉
森島好弘（旭オイル）、高橋卓宗、村上勉、永谷康浩、円法徳明（以上、アプサダ）、石川由美子（荒井商会）、築地小百合（イデキュー）、鈴木基史、山本良江（以上、エザキ）、森下浩喜、渡邊和人（以上、太田商事）、小林竹春、中川正明（以上、オーテック）、兼松勝昭（オーモリニッセキ）、水野三枝、中野賢造（以上、春日井沢丸善）、本田二美、日本海産商）、田ズエナジー）

石川

〈永年勤続優良従業員〉
岡山誠、南洋和、南部

〈共同事業準優秀支部〉
雲南支部、出雲支部、江津支部

高知

〈永年勤続者表彰〉
藤原邦正（高知石油）、梶田次彦（土佐共同産業）、清村麻理、濱崎多絵（以上、四国石油）、岡内太郎（入交石油）、高田誠進（松沢清石油店）

愛媛

〈優良従業員表彰〉
乙津修（藤村石油）、田中綾乃（目興石油）、越智哲士（波止浜興産）、池内修二（大谷石油）、丹信也（今西石油）、稲葉和俊（稲葉石油店）、平田貴大（西崎石油）

福岡

〈組織功労役員〉
砂山英二（砂山石油店）、大坪久高（新上陽石油）

鹿児島

〈役員功労〉
恒森孝雄（恒森石油）、米丸良行（日米礦油）、福添健郎（かねふく商事）、白尾和昭（前野石油）、満尾精作（木野興産）

沖縄

〈永年役員功労者〉
赤嶺良光（白石）

〈地域貢献〉
小禄南給油所

神奈川

〈共同事業目標達成支部〉
4種目達成支部＝川崎南、神奈川、南港南、足柄、津久井、神奈川南部
3種目達成支部＝緑、戸塚

〈退任役員表彰〉
川田善久（厚木支部、冨士見商会）、吉野久一（高座支部、吉野石油）、小谷龍太郎（新湘南支部、三喜石油）

静岡

〈支部組合員功労者〉
佐野秀和（和出石油）

〈組合員高齢者〉
高島信子（高島）、中安征雄（やよい石油）、山本安章（ヤマモト）

〈従業員永年勤続者〉
秋山利昭（丸協石油）、小野修（吉田屋）、石代淳（遠鉄石油）、

〈支部長退任〉
石渡延人（天城シェル石渡商店）、遠藤雄一郎（遠藤商店）、佐

共同事業に貢献した組合員や、長年勤務した従業員を称えた和歌山

痛んだ床も簡単に補修！
SSドライブウェイ簡易補修セット
施工は日曜大工感覚、翌日には通行可能。

①下地をきれいにする。（注）下地は水洗いしないでください。
②混合液を作る。
③混合液を塗る。（注）塗る量は1セット当たり150～250gまでとする。（全部使い切らないで下さい）
④混合液と骨材を混ぜる。
⑤補修面にコテで押さえて仕上げる。

●ボンド製品だから
ひび割れ部分・水溜まり部分・欠損部分・アイランド部分の補修が簡単

必要な材料の目安		
塗り厚	10㎜厚	5㎜厚
施工面積（1㎡当たり）	4セット	2セット

梱包容量（1ケース）	色調
梱包数：4セット入り	グレー

1セット　4.625kg
●樹脂［A主剤 500g…液体／B硬化剤 250g…液体］
●C難燃材 125g…粉体
●D骨材 3750g…粉体

組合員特別価格
1～9ケース19,520円
組合員特別価格
10ケース以上18,520円

製造元：コニシ株式会社ボンド建設部
◎お問い合せは最寄りの石油組合または
全国石油業共済協同組合連合会
TEL.03（3593）5841

TATSUNO RESPONSIBILITY
TATSUNO
In Innovation, In Reliable Services
環境対応型SSのご提案

ペーパー液化回収機能付計量機「タワーNX D70S」「サニーNX D70S」
ペーパー液化回収装置「エコステージL100」

新機能を開発した先駆者としての責任。

私たちは4年前に世界で初めて、給油時に排出されるガソリンベーパーの液化回収機能付き計量機を発売。

タツノはこれからも、環境保全、給油の安全性、経済性への貢献を通じてより良きパートナーとなるために、さらなる努力を重ねてまいります。

「経営安定化促進支援事業」対象製品

株式会社タツノ　本社／〒108-8520 東京都港区三田三丁目2番6号　http://www.tatsuno.co.jp/　Tel.050-9000-0567（営業本部営業部）

トレンドファイル

ZENSEKI

ぜんせきwebeラーニング活用し乙４突破へ弱点を集中学習

岡山・乙４直前講習会講師 鶴井昭彦氏インタビュー

岡山石商（小出総太郎理事長）は21日から23日までの3日間、組合独自の乙4講習会を県石油会館で開催した。同講習会は25日の危険物取扱者試験（乙4）の直前講習会として実施されたもの。同講習会の講師は今年度も鶴井昭彦氏（カーエステアルプス代表）が務めたが、鶴井氏は今回から新たな企画として、全石連の『ぜんせきweb』（期間内は受講者無料）を教材の1つに加えた。鶴井氏に乙4講習に対する考え方やeラーニング『乙4模擬試験』を活用することにした決め手を聞いた。

―乙4講習の考え方

乙4試験の合格率は、ここへきて30％を割り込むなど悪化の一途をたどっている。さらにSSの現場では人手不足が大きな問題となっているが、離職率も高いままだ。セルフSSといえども当然、乙4資格者は必須であり、従来以上に資格者育成を円滑に行う仕組みが必要となる。つまりは乙4試験合格率を高めるため、短期間で結果の出せる方法が重要となる。

―eラーニング『乙4模擬試験』の使い方

合格率アップの方策として、岡山石商の講習会ではeラーニング『乙4模擬試験』を教材に加えようになっていること。時流を考えると、webの利用価値は高い。具体的にはeラーニング『乙4模擬試験』を受講前に最低10回やることを指示。講習会ではeラーニング『乙4模擬試験』から引っ張り出した問題で、再度、模擬テストをするので予習をやったかどうかはその採点結果で把握できる仕組み。

―今回の試みについての感想

試験に向けては間違いやすいところを重点的に学習するのが合格の近道。スケジュール通りに予習を行い、講習会で学び、復習も徹底すれば必ず合格率が上がる。ただ、予習成果の結果を見ると、eラーニング『乙4模擬試験』を5回以上やってきた人もいれば、全然やっていない人もいる状況でまだ課題は残る。将来への危機感を思うと、eラーニング『乙4模擬試験』を有効活用するとともに、もう少しこうした講習会の重要性をPRしていく必要がある。

SS関連業界

10ヵ月連続で前年超

5月・新車販売台数

	2017年5月	前年比
登録車総販売台数	237,512	6.1%
①普通乗用車	112,037	8.3%
②小型乗用車	94,899	4.9%
軽4輪車総販売台数	135,064	25.3%
③軽乗用車	105,455	29.2%
④軽貨物車	29,609	12.9%
登録車＋軽4輪車	372,576	12.4%

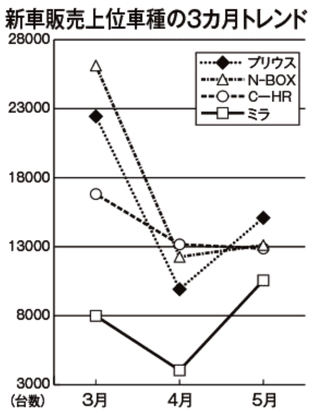
5月 新車販売台数ベスト20　（単位:台、%）

順位	通称名	メーカー名	台　数	前年比
1	プリウス	トヨタ	15,092	▲29.9
2	N-BOX	ホンダ	13,118	14.2
3	C-HR	トヨタ	12,872	―
4	ミラ	ダイハツ	10,562	96.8
5	ムーヴ	ダイハツ	10,448	105.9
6	デイズ	日産	10,198	―
7	ノート	日産	9,992	59.7
8	タント	ダイハツ	9,868	▲12.5
9	ワゴンR	スズキ	8,807	54.4
10	フリード	ホンダ	8,626	253.5
11	スペーシア	スズキ	7,747	16.0
12	アクア	トヨタ	7,551	▲32.7
13	アルト	スズキ	7,447	3.3
14	ヴィッツ	トヨタ	6,383	38.9
15	ヴォクシー	トヨタ	6,030	1.3
16	セレナ	日産	5,999	12.5
17	シエンタ	トヨタ	5,966	▲36.9
18	インプレッサ	スバル	5,678	80.7
19	ヴェゼル	ホンダ	5,421	▲6.1
20	カローラ	トヨタ	5,373	▲5.6

※　は軽自動車

カーライフ

日本自動車販売協会連合会（自販連）と全国軽自動車協会連合会が集計した5月の国内新車販売台数は、登録車が前年比6・1％増の23万8千台となり、10ヵ月連続で前年実績を上回った。また、軽4輪車は25・3％増の13万5064台となり2ヵ月連続で前年実績を上回った。また、ブランド別では1位がトヨタ・プリウスとなり、ホンダ・N－BOXが2位となった。3位にはトヨタ・C－HRが続く。



7ヵ月ぶりにプリウス首位

3ヵ月トレンド

直近（3～5月）の新車販売トレンドを見ると、トヨタ・プリウスが7ヵ月ぶりに首位となった。2位はホンダ・N－BOXとなり、傾向が顕著に表れていた。前月トップだったトヨタ・C－HRは3位となった。ダイハツ・ミライースが好調なスタートをみせ、前月の29位から4位と大幅なランクアップを記録した。また、ベスト10に軽自動車が6台を占め、経済性を重視する傾向が顕著に表れていた。

輸入車新規登録台数　（単位:台）

	2017年5月	前年比(%)
乗用車	21,540	0.6
貨物車	62	▲1.6
外国メーカー車	21,602	0.5
乗用車	1,598	▲25.8
貨物車	1,178	8.7
日本メーカー車	2,776	▲14.3
乗用車	23,138	▲1.8
貨物車	1,240	8.1
輸入車総計	24,378	▲1.4

前年比0.5％増

5月・輸入車新規登録

日本自動車輸入組合が集計した5月の新規輸入車登録台数は、外国メーカー車が前年比0・5％増の2万1602台となり、14ヵ月連続で前年実績を超えた。また、日本車を含めた輸入車総数は前年比1・4％減の2万4378台となり、前年実績を下回った。

環境

再エネ由来水素ST導入に補助

低炭素社会促進協

低炭素社会創出促進協会はこのほど「地域再エネ水素ステーション導入事業・水素社会実現に向けた産業車両における燃料電池化促進事業」の公募を開始した。

これは環境省「2017年二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金（再エネ等を活用した水素社会推進事業）」を活用し、再エネ由来の水素ステーションの導入および燃料電池産業車両（燃料電池フォークリフト）の導入に要する経費の一部を補助するもの。

公募期間は地域再エネ水素ステーション導入事業が8月31日まで。水素社会実現に向けた産業車両における燃料電池化促進事業が11月30日まで。

詳細は低炭素社会促進協会ホームページ（http://lcspa.jp/suiso）まで。

webアンケート

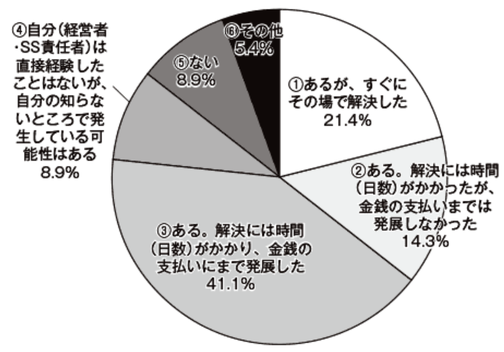
ZENSEKI

6月テーマ SS店頭におけるトラブルについて

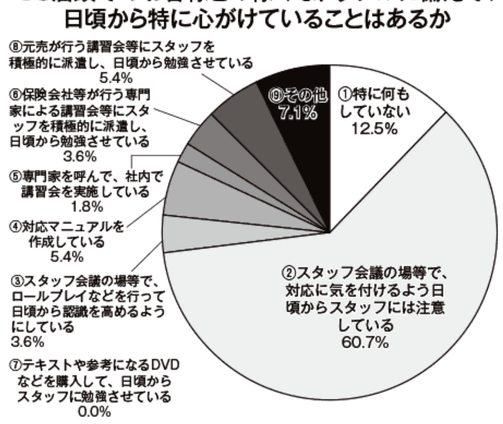
「ぜんせきweb」読者アンケート・6月テーマ「SS店頭におけるトラブルについて」の結果によると、店頭での顧客とのトラブルについて、「ない」は9％にとどまる一方、「ある」は合計で86％に達し、SS店頭では顧客とのトラブルが絶えない実態が明らかになった。一方で対応策は、「スタッフ会議等で対応に気を付けるようスタッフに注意している」が61％で最多を占めた。

「SS店頭でお客様とのトラブルが発生したことはあるか」との問いには、「ある。解決に時間がかかり、金銭の支払いに発展」が最多で41％、「あるが、すぐにその場で解決」が21％で続き、「ある。解決には時間がかかったが、金銭の支払いまでは発展しなかった」が14％と、「ある」が「その他」の意見を含めて91％に達し、「ない」は9％にとどまった。

御社のSS店頭で、お客様との何らかのトラブルが発生したことはあるか



SS店頭でのお客様との様々なトラブルに備えて、日頃から特に心がけていることはあるか



〝トラブルある〟9割

原因は洗車、給油など多岐

原因はSS店頭業務全般であることがわかった。具体的な声としては、「オイル交換後のオイル漏れ」「ごみ捨て」「給油」21％、「点検・整備」15％、「接客態度」13％、「車を預かった際のこと」10％と続き、「洗車」が25％で最多、次いで「給油」の言いがかり」「セルフ洗車におけるアンテナ破損」などだった。また、発生したトラブルについて最終的に責任の所在はどうなったかについては、「責任は最終的にスタッフ・店側にあり、責任は店側が負った」が63％と3分の2を占めた。顧客が責任を認めて責任を負ったケースは14％にとどまる一方、責任が最終的には顧客側にあったにもかかわらず、顧客がそれを認めず責任を店側が負ったケースも10％あった。

一方、店頭でのトラブルに備えて日頃から心がけていることを聞いたところ、「スタッフ会議の場等で、対応に気を付けるよう日頃から注意している」が61％で圧倒的多数を占めた。「対応マニュアルを作成している」「元売の講習会等にスタッフを派遣し、日頃から勉強させている」などもそれぞれ5％あったが、一方で「特に何もしていない」も13％あり、対応としては少々気になるところだ。

最後に、店頭での顧客とのトラブルをスタッフはどう受け止めているかについては、「サービス業・小売業ならどこでもあることと受け止めているが、やはり仕事に嫌気がさす一因になっている」34％、「サービス業・小売業ならどこでもあることと、それほど重くは受け止めていない」29％、「SS店頭はトラブルが特に多いと受け止めているが、チームワークで乗り切れると考えている」23％と、ほぼ3つに分かれた。

G横ばい、油外は良化

卸平均は税抜き113・2円

業況・卸価格アンケート結果によると、回答者の属性は、JX46％、出光9％、昭和シェル13％、コスモ9％、東燃ゼネラル9％、その他14％。2者54％、3者39％、その他7％だった。

4月のガソリン販売量は、前年比で「伸びた」25％（前月31％）、「大幅に伸びた」4％（2％）で合計で4ポイント減少。「落ちた」23％（25％）、「大幅に落ちた」4％（5％）で合計で3ポイント減少、悪化に転じた4月と比べると、5月はほぼ横ばいとなった。

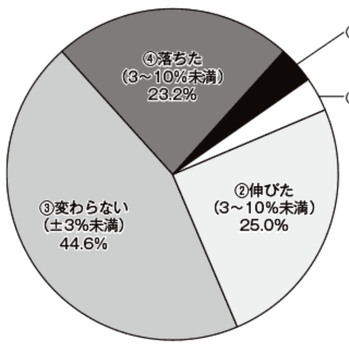
一方の油外は、「伸びた」29％（前月23％）、「大幅に伸びた」13％（9％）で、合計では前月より10ポイント増加。「落ちた」21％（22％）、「大幅に落ちた」2％（5％）で、合計4ポイント減少と、ガソリンと比べてやや上向き、4月同様、小幅良化となった。

昨年4月から開始した卸価格・業転価格調査のうち、業転価格調査への回答数は卸価格調査への回答数の81％と、前月より3ポイント減少した。

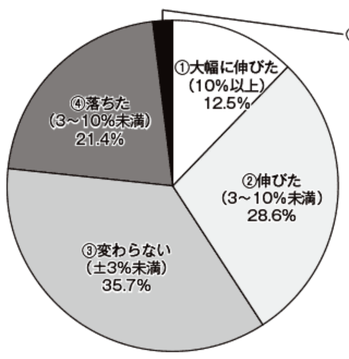
5月1ヵ月平均のレギュラーガソリン卸価格（1㌔㍑、系列仕切り、消費税抜き）は、最高134・0円（前月134・0円）、最低103・5円（103・5円）で、平均価格は113・2円（113・2円）と、前月と全く変わらなかった。

一方、5月20日時点でSSが購入もしくは売り込みがあったガソリン業転価格（1㌔㍑、消費税抜き）は、最高114・8円（112・8円）、最低102・0円（98・2円）で、平均価格は104・5円（107・6円）と、こちらは前月比で一気に3・1円値下がりし、大幅値上がりした4月からは一転して、大幅値下がりとなった。

ガソリン販売量は前年と比べてどうか（複数SS所有の場合は1SS平均）

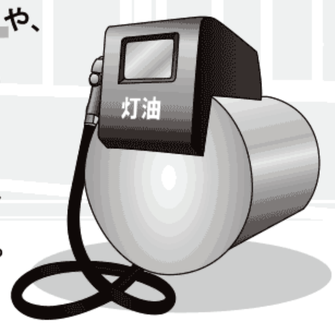


油外販売は前年と比べてどうか（複数SS所有の場合は1SS平均）



不要になった
計量機、買い取ります。

ガソリンスタンドの廃業や、計量機の入れ替えで
不要になった計量機は、是非日本スタンドサービスにお売りください。
計量機の他にも、ミニローリーや、コンプレッサー等周辺機器も高価買取いたします。
無料でお見積りいたしますので、まずはお気軽にお電話ください。



買取対象製品
固定式計量機／ノンスペース計量機／ポータブル計量機／ミニローリー／釣銭機／カードリーダー／コンプレッサー／バキュームクリーナー　他

無料お見積り
お問い合わせは
0120-016-889
東日本地域のお客様 03-5721-4789　西日本地域のお客様 072-968-2211
メールでのお問い合わせ info@nssk.co.jp
ホームページ http://www.nssk.co.jp/ 又は 日本スタンドサービス 検索

古い計量機の
部品、取り扱っております。
日本スタンドサービスでは、計量機の中古部品を取り扱っております。
古い計量機の部品が手に入らずお困りの際は、部品の不足で計量機を買い替える前に、是非一度弊社へご相談ください。
お客様のお悩みを解決できるよう尽力いたします。

日本スタンドサービス株式会社
当社は、計量機検定／修理・地下タンク漏えい検査・地下タンク老朽化対策工事・各種施工等、充実のサービスで給油所運営に貢献いたします。
大阪本社　〒578-0911 大阪府東大阪市中新開2丁目11-17　TEL.072-968-2211　FAX.072-968-3900
東京営業所　〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2丁目21-6　TEL.03-5721-4789　FAX.03-5721-4787
◆ホームページ http://www.nssk.co.jp/
◆楽天市場店 http://www.rakuten.co.jp/auc-nssk/
日本スタンドサービス 検索
【事業内容】
◆自社計量機販売　◆給油機器販売　◆計量機検定　◆計量機修理　◆中古計量機買取・販売　◆中古部品販売
◆地下タンク漏えい検査　◆移動タンク漏えい検査　◆高精度油面計　◆電気防食システム工事　◆給油所新設工事
◆給油所廃止工事　他　お気軽にご相談ください。